

# 恒例の松本自然観察会公開講座

## 《植物の受粉と受精のメカニズム》

講師 日本植物学会会員、松本自然観察会理事 吉澤国雄

開催日時 令和4年12月8日（木） 午後2時～午後4時

開催場所 松本市Mウィング三階302号室 定員40名 申込み順

申込み先 岩崎俊生 T e L 0 2 6 3 - 9 2 - 3 5 4 3

携帯 0 9 0 - 4 0 5 2 - 3 4 5 5

（午後6時過ぎにお願いします）

申込期限 令和4年11月28日（月）～12月5日（月）

受講料 無 料

### 記

植物は受粉・受精においても生き延びるため、そして子孫を残すために色々な工夫・知恵を働かせています

☆受粉についてはその仕方を五つに仕分けし、各々の説明とそれにあてはまる植物名も紹介します ソメイヨシノ桜など

受粉に成功したからといって受精できるとは限りません。受精に至るまでのプロセスとそこに働く知恵を学びましょう

☆受精については

- 1、花粉が雄しべの先端にある「葯」で作られるプロセス
- 2、雌しべにおいて「卵細胞」を含む「<sup>はいのう</sup>背嚢」ができるまでのメカニズム
- 3、花粉管ガイダンスについて・・・トレニア（夏スマレ）の画像も使って
- 4、卵細胞と精細胞は受精して最後に何になるのか
- 5、被子植物はなぜ二度も受精するのか

☆種子の方が孢子より生存・生殖に有利な点

◎以上の内容をパワーポイントを使い様々な画像を入れて話をします

◎今回の講座で受粉・受精について知れば、植物の見方も変わり、植物生理学への興味も深まるでしょう